

問題1

次の取引について仕訳しなさい。
ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
車両	買掛金	支払手形	貸倒引当金
車両減価償却累計額	資本金	売上	固定資産売却益
仕入	貸倒損失	減価償却費	支払保険料
支払手数料	発送費	固定資産売却損	損益

- 横山商店に掛けで販売した商品のうち、一部に破損があったため、¥30,000の値引を承諾した。
- 得意先の中原商店が倒産したため、同店に対する売掛金¥300,000が回収不能となったので貸倒れとして処理した。なお、貸倒引当金の残高は220,000である。
- 平成24年3月31日に、不用となった車両(購入日:平成19年10月1日、取得原価:¥4,000,000、減価償却方法:定額法、耐用年数:6年、残存価額:取得原価の10%、記帳方法:間接法、決算年1回(9月30日)を¥1,000,000で売却し、代金は先方振出しの小切手で受け取った。なお、当期分の減価償却については、月割計算をすること。
- 上杉商店に商品¥900,000円を売り渡し、代金のうち¥600,000円については同店振出し、当店宛ての約束手形で受け取り、残額は当店振出し、竹村商店宛ての約束手形の裏書譲渡を受けた。なおそのさい、当店負担の発送運賃20,000円について小切手を振り出して支払った。
- 当期の収益総額は300,000円で、費用総額は200,000円であったので、この差額を資本金勘定へ振り替えた。

問題2

次の資料に基づいて小口現金出納帳に記入し、週末の締切をしなさい。
なお、当店はインプレストシステムを採用し、週末に補給されている。

(資料)	9月1日(月)	文房具	¥13,000
	2日(火)	切手代	¥4,000
	3日(水)	タクシー代	¥2,800
	4日(木)	お茶菓子代	¥2,700
	5日(金)	電車代	¥2,000
	〃	電話通話料	¥8,400

問題3

解答用紙の精算表の()内に適当な勘定科目・金額を記入して、精算表を完成させなさい。

受験番号	
氏名	

得点合計

得点小計

問題1

番号	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
1				
2				
3				
4				
5				

問題2

小口現金出納帳

受入	日付		摘要	支払	通信費	交通費	消耗品費	雑費
50,000	9	1	前週繰越					
			合計					
			本日補給					
			次週繰越					
	9	8	前週繰越					

